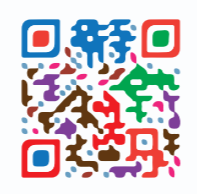


# 石川の突撃取材 in 東京ビックサイト



今回は先月号で紹介できなかった、東京ビックサイトで行われた第41回東京モーターサイクルショーについてです！私が取材に行った日は朝から大雨でしたが、会場にはたくさんのお客様であふれていて驚きでした。第1プロジェクトがインディアンとヴィクトリーブース、ピアッジオブース、JAF ブースの3つに分かれていたので、それぞれで紹介させていただきます。

## インディアンとヴィクトリーブース

会場入ってすぐ目に入ったのがこのブース。ブース内は、ウッドィーでアメリカンな感じになっていました。さすが、アメリカンバイクというだけあって重量感と存在感がすごかったです。レトロな感じも含まれていてそこから上質さが伝わってきました。普段、なかなか間近で見ることができないものに興味がなかった私も「乗ってみたい」と感じずにはいられませんでした。



↑目に入ったのはこれ!!



↑キラキラのバイクたち

## ピアッジオブース

このブースに到着してすぐに石川は赤の Vespa LX 50 2T に目を輝かせてしまいました。Vespa について詳しくは本紙中面の社長の「我が社に Vespa がやってきた!」をご覧ください。とても上品でかわいらしいデザインは、きっと女性も乗ってみたいと思うはずです! わたしも Vespa に乗って天気の良い日にピクニック♪なんていいなあと思ひますブース内には、他の色や Vespa とは少し違った形のものもありとても鮮やかでした。



↑白も素敵☆



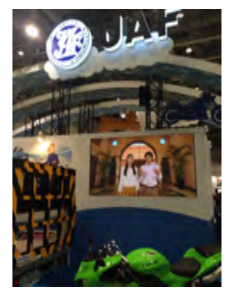
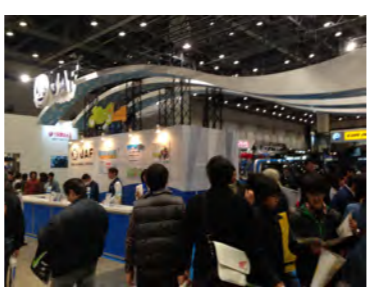
↑赤の Vespa LX 50 2T ☆

## JAF ブース

JAF ブースにはたくさんのお子様の子供免許でたくさん並んでいました。意外にもバイク好きな方だけでなく家族でお子様を連れていらっしゃる方も多くいました。バイクのイベントでしたが、JAF はバイクのロードサービスも行っているとのことと皆さんの中にもバイクでお世話になることがある方もいらっしゃるのでは?



↑とにかく「人!」「人!」「人!」で写真を撮って回るのが大変でした...



たくさんのお客様があふれる会場は、それぞれ個性のあるバイクが並びバイク好きにはもちろん、そうでない私までわくわくしてしまうようなイベントでした。バイクの免許もとってみようかな。。。と試してみたりもしました! こんな風にきっかけとなることもイベントにはたくさんあるのだと思いました。

編集: 石川華奈子

**経理室**

### 朋子のオススメMusic!!



いよいよやって来る夏フェスシーズン。私の楽しみは Fuji Rock Festival に出演する Arcade Fire です。前作「The Suburbs」がグラミー賞を受賞し、世界各国のフェスでヘッドライナーを務める評価の高いバンド。新作「Reflektor」は持ち味であるメランコリックさを残しつつ全体的にダンスパブルで高揚感溢れる一枚。彼らの真骨頂であるライブがより一体感を増し熱狂的なステージになること間違いありません! 苗場の壮大な景色の中で、世界最高のライブを是非体感して下さい!



↑Arcade Fire



↑Reflektor

## 脳トレコーナー『できるかな?』

1995年公開の映画「ダイ・ハード3」から、トンブキンズ・スクエア公園でのなぞなぞ。  
『5ガロン入りの容器と3ガロン入りの容器がある。その2つを使い、正確に4ガロンの水を汲んで目の前の秤の上に置き!』



←問題のシーン



問題の答え→



ADの博士: 阪本一央

今回は、この応用問題です!

ご意見・ご感想は [adtain@adproject.co.jp](mailto:adtain@adproject.co.jp) まで メールでお寄せください。  
発行: 株式会社エーディープロジェクト 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-29 共同ビル [www.adproject.co.jp](http://www.adproject.co.jp)

**adproject 公式 facebook を check**  
adproject がお届けするエンターテインメント情報を随時UP!!

皆様の いいね! をお待ちしております。  
facebook adproject  検索  
もしくは、<https://www.facebook.com/adproject.japan>

2014 5  
vol.024

# Legend

第5回 **美意識** ⑤  
～生命力の創造～



ゼネラルプロデューサー  
榎垣 俊幸

■唯物史観では見えない世界  
モノを見る力とは何か? 自分以外の人は、自分と同じように見えているのであろうか? 正面とはどちらで、側面とはどの方向から見たものであろうか? とにかく、とにかく、確かめようの無い自分以外の世界。そんな魅惑的な世界に意識と主体性を浮遊させているミクロな世界が自分を取り巻く環境で有る事を自覚しなければなりません。ならば、こんなミニ・ミクロな自分に何が出来るのか?  
本来、「お・も・て・な・し」の精神が「ソフト創造」の社会に身を投じている私達は、人、物、事に「喜びの活路」と「感謝の抱けるソフト作り」が使命で或ると心しなければなりません。その為には、人、物、事に「ポジティブな視点」を持つ事が大切です。いいんです。批判的な視点や思考は自分以外の多くの人がやってくれますから「私達はポジティブにしか考えられなくてごめんなさい。」の精神です。私達は知っています。ポジティブに考える志向のみが全ての未来を創造する事を! 常に「自分の考え方がポジティブな視点なのか?」の問い掛けをする事が大切です。その為には、自分の中にある唯物史観と決裂する事も大切です。見えている世界が全てでは有りません。勿論、「唯心論者に成りなさい」と言ってるわけでは有りません。モノを見る視点は二極の方向から。見て、触って、感じなさいと言う事です。プロデューサーの鉄則である経験、体験主義の鉄則を守りなさいと言ってるのです。モノの可能性は心の側に有ります。言い換えればモノの進化性は心の中に秘めたもので決まります。それが進化するのは、その方向性の有り方で決まるからです。鳥は何故、空を飛んだのでしょうか。飛びたいと思ったからでしょうか。クジラは何故、海に残ったのでしょうか。残りたいと思ったからでしょうか。更に、生きる事と一致したからでしょうか。この心と生きる事が一致する生き方は、我らソフト創造者には学ぶべき事があります。心を持って、生きる糧を抱けば、必ず進化する事ができるという事です。勿論、地球の進化に比べれば100年未満の進化など大した事では有りませんが、確実に自分を進化させる手法です。

■狂信的な唯心論の終焉  
人を、愛したり、信じたり、する心の動揺を感じた事は有ると思いますが、年を重ねる毎に、頬笑みや、慈しみの思いが生れてきます。それは、一方的な愛でなく、強引でなく、信頼を抱くゆとりのある心的現象に変わったのかも知れません。それは、色々な側面から、物事を感じ見る事が出来る様になったからでしょう。また、色々な立場になり変わり、多様性を理解



EDGE  
positive mind

adproject-entertain  
newspaper

# adtain

モデル: Rena / Height:162cm B:86 W:62 H:88  
事務所: ARTRICK ENTERTAINMENT (アートリック) <http://artrick.com>

## adtainとは、adproject と entertain が融合した「おもてなし」のトピックス誌

する様に成ったのかも知れません。若かったあの頃は、愛する事や、信じる事に一義的な答えを真実とした時代でした。ある意味狂信的な自分がいました。それが正義でも有りました。たぶん単一民族である私達には、分りえない世界でも有りました。しかし、世界には分りえない民族、宗教、主義、主張も有りえるのが世界です。グローバル社会に成って良くボーダレスとは、この異なる価値観の人々と折り合いをつけて見えない秩序を創造して行かなければなりません。その為にも、この色々な側面から見られる、心の眼力と言える視点の開発が最重要な時代と成ります。皆さんも是非、世界に出て様々な民族と触れ合い、その折り合いの視点を実感してください。Adprojectは世界の民族に共有して伝わる、ドメインに拡張の向います。

■幸せは唯心的なもの!  
幸せは、人によって異なりますが「幸せ感」はみんな同じです。また、幸せ感が人間の肉体的な健康にも大きく関与しています。エンドルフィン・ホルモンが作用している処までは医学的な臨床において実証されているようですが何故出なのかと言う自問には満足いく答えが得られていません。そのポジティブ因子が脳に刺激を与え、ホルモンを出す事まではわかっています。人は赤ちゃんの目を見た時に、そのホルモンは出るそうです。そ

れは、未来を見つめて生まれたて来た赤ちゃんの目にはポジティブ因子しかありません。生きる事でいっぱいの子ちゃんには、生きる事でポジティブな糧なのです。貴方は、そのポジティブだった赤ちゃんの時の事を覚えてますか? 多くの人は覚えていないと思います。しかし、想像してみてください。それが、貴方の、思い出した赤ちゃんの時のポジティブ因子なのです。全ての防御本能であるネガティブ因子は、後天的につけた弱肉強食の生命力が、副次的につけた無用の産物なのです。

唯心主義者(拝金主義者)はモノに溺れる。  
唯心主義者(崇拜主義者)はヒトに溺れる。  
故にソフト創造者はエンターテインメントに溺れる。





山崎 涼香

- Event：アウトドアデジジャパン2014
- Date：2014年4月5日(土)～6日(日)
- Place：代々木公園



# Project 1.

吹く風にもはや初夏の気配がする今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

先日4月5日～6日の2日間「アウトドアデジジャパン2014」に行ってきました。私が入社して初めて携わらせていただいたイベントでもあり、前年同様、JAF様のブースでお世話になりました。毎年、ツインリンクもてぎ内にあるハローウッズの森様にご協力いただき、森のクラフトと火おこし体験を行っています。昨年度は、強風のため火おこし体験が出来なかったのですが、今年はたくさんのご家族に体験していただくことが出来ました。実は私、かなりのインドア派で休日は遊びに行くより家で寝たい、という“ぐうたら人間”なのです。そんな性格から普段アウトドアな事など滅多にしないのですが、この火おこし体験を通じて「アウトドアって素晴らしい！」という考えに変わりました。今回実施した火おこし体験は「舞切り式」という方法で、大人3人掛りでやっと付くという難しさ！次の日には両腕筋肉痛になるほど辛いのです。なめてかかっただけではいけません。そんな難しさから、小さな子どもから大人まで家族一丸となって協力する姿がとても素晴らしく、感動を覚えました。特に、中・高校生ぐらいの女子学生の大半が父親嫌悪の時期で、コミュニケーションをスムーズに取れなかったりする時期だと思えます。しかし、火おこし体験に参加していた父娘は、最後の一押しをお父さんにお願いしたり、火をつける瞬間はお父さんに委ねたりと、私が想像していたよりも娘はしっかりと父を頼り、父は大黒柱の威厳を持っていたように思えました。また、火のついた瞬間が感動モノなのです。お隣のご家族から通りがかりの方まで、ついた瞬間は拍手喝采なのです。時には外に出て自然と触れ合ったり体験したりする事で、家族との絆が深まったり、考え方が広がったり、運動不足が解消されたりといい事づくしです。私と同じでインドア派な方も次のお休みに是非、ご家族とアウトドアな遊びをしてみてくださいはいかがでしょうか。



◀体験中のご家族 皆さん真剣です！



▶火おこし成功の瞬間



PRODUCER：須田 潤一

- Title：話題の〇〇プリンター。1台いかがですか？



# Project 3.

今年の冬は、イベント現場でも大雪に見舞われ雨にも、降られ散々な冬でしたがいいよ春真っ盛り。いい季節になってきました。さて、先日そんな春の風を感じながら池袋の某大型家電製品店をブラブラしていて、そろそろ帰ろうかと下りのエスカレーターに乗ると目に留まる看板があるではないですか！

“話題の3Dプリンター取扱中!!!”

これは、と思い早速、エスカレーターを逆走して3Fへ。3Fに付くとかなりのスペースを割いて3Dプリンターが並んでいました。実際にデモ中の機器もありました。販売価格としては、数十万円～数百万円。Project3500SD&HDシリーズには900万円を越すものもありました。近くにいたスタッフにお話を伺ってみるとまず、出力（造形）する時間これが、1つ制作するのに最低でも2時間程度はかかるとのこと。しかもクオリティの高い機器になるとさらに時間を要するようになるようです。あとは、やはり3Dデータの制作技術が必要で当然データがしっかりできていないと造形も同じようにはならず・・・。3Dスキャナーも置かれていましたが、まだまだ実用性としては遠いようです。現段階では、専門職での取り扱い域は越えられないと感じましたが、この家電製品店内で3Dデータ作成、出力（造形）サービスも実施しておりサンプル制作等に活用していくことは可能と感じました。まだまだ、これからの技術ですが先々が楽しみです。



3月に横浜パシフィコで実施したイベント。来場者1万人。ホールA・B・Cぶち抜きで実施した100mスクリーン圧巻です！



## やっぱり何事も経験が大事？ ～スピリチュアルカウンセリング編～

EXECUTIVE PRODUCER：松延 智明



みなさんは占いを信じますか？ わたしはまったく信じません。なのですが、何事も経験ということで、人生で初めてスピリチュアルカウンセリングに行きました。細かい経緯はさておき、時々何う飲み屋さんで水曜日の夜だけ、カウンセラーが来ます。10分1,000円というお値段は、破格なのだそう。飲み仲間が見守る中、お願いをするにあたっては「信じていませんが、大丈夫でしょうか」と一応、断りました。相手は「全然、構いません」と笑顔。さすが、売れっ子カウンセラー。ゆとりが違います。続けて「何か聞きたいことは？」と問われ…何と、信じていないせいか、聞きたいことがない！！これを伝えると気分を害するどころかまた笑顔で「それなら」と、わたしという人間について<見えること>を話してくれました。その感想は…正直、びっくりです。当たっているとかいないとかの問題ではないのです。なぜか話に引き込まれていくという不思議な感じ。これを見て周りの飲み仲間も次々にお願いをしはじめ「政治家になろうと思うんですが、なれますか？」(全員びっくり)と本気で質問をした方を筆頭に衝撃発言が次々と飛び出すお祭り状態に。「これでは壺を買う人も出てくるだろうなあ…」「でも、この話術は仕事で役立つなあ…」などと酔った頭で考えつつ夜が更けていきました。ご興味がおありの方は、ぜひ一緒に。



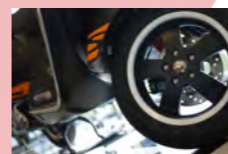
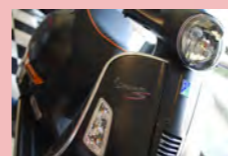
## 我が社にベスパが やってきた！

PRESIDENT：檜垣 俊吾



「ローマの休日」「さらば青春の光」などで有名なイタリアのトップブランドスクーター、Vespa が弊社に来たのは4月中旬ついこの間。Vespa ブランドの広報車両兼社員の移動車両として活躍している。

ローマの休日の中で、新聞記者役のグレゴリー・ベックと女王役のオーディリー・ヘップバーンが市内の観光地巡りをするシーンをご存知だと思いますが、そのシーンで足として活躍したのがイタリアのスクーター「Vespa (ベスパ)」である。Vespa が誕生したのは1946年。イタリアのPIAGGIO (ピアジジョ) 社によって開発された。航空機や鉄道車両などを開発していた会社が第二次世界大戦後に大衆にアピール製品で手取り早く収入を上げようとしたことから“スクーター”が生まれたという。ちなみにベスパ (Vespa) はラテン語で「スズメバチ」の意。ボディーのテールの形状が蜂のお尻に似ていることから、「ベスパ=スズメバチ」と名付けられた。横から見たとき、後ろから見たとき、ぶつくりとぶくらんだ丸いヒップラインが何とも言えないかわいらしさを感じさせる。



浦山 善明

- Title：日本橋での現場を経て…



# Project 2.

デジタル化している現代、何をするにも便利な世の中になってきました。今では携帯電話で音楽や映画、芸術など様々な文化に、その場に行くことなく触れることが出来る時代になりました。私もその恩恵にあずかっているわけで、最近はずいぶんと出不精になってしまい、休みがあれば家にこもっていることもしばしば。そんな生活が続いていた中、「江戸桜ルネッサンス」(※1)「ジャパン・クラシック・オートモービル」(※2)と日本橋で行われるイベントの運営に携わらせて頂きました。

この2つのイベントは、いま日本橋の夏の風物詩とも言える「アートアクアリウム」(※3)でも知られております。株式会社エイチアイディー・インターアクティカ代表の木村英智さんプロデュースのイベントです。ともに古き良き物、芸術に触れることが出来るイベントであり、普段めったに見ることの出来ないような、貴重かつ高額な伝統工芸品を手にとれるような場所で見ることが出来ます。

日本橋では現在、「残しながら、蘇らせながら、創っていく。」をテーマにスマートシティ化の開発が進んでおります。街そのものが伝統工芸品のような日本橋の全てを新しくするのはなく、古き良き物は残しつつ、現代的な視点で再構築し、未来へと続く日本橋の新しい価値や魅力を創ることを目指している日本橋開発。まさに、伝統と現代とかが融合している木村さんのエンターテインメントは、日本橋そのものを体現しているのではないかと感じます。

運営の立場で現場に携わり、私が改めて感じたことは、このデジタル化が進んだ便利な世の中であっても、実際にその場に足を運び、体験することの意味です。イベントはその場所で行われていることに意味があり、それをひっくめて感じ取ることで、本来のイベントの趣旨を知ることができるのではないかと思います。文字情報だけでなく、映像情報も容易に手に入る現在。表面的な情報だけにとらわれず、色々な物事がある場所・街で行われる意味(将来的にそこに何をもちたそうとしているのか)を考えてみるのも楽しいのではないのでしょうか？



※1 江戸桜ルネッサンス



※2 ジャパン・クラシック・オートモービル

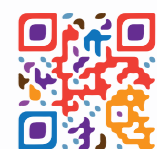


※3 アートアクアリウム



PRODUCER：岩下 信而

- Title：男のいない女たち



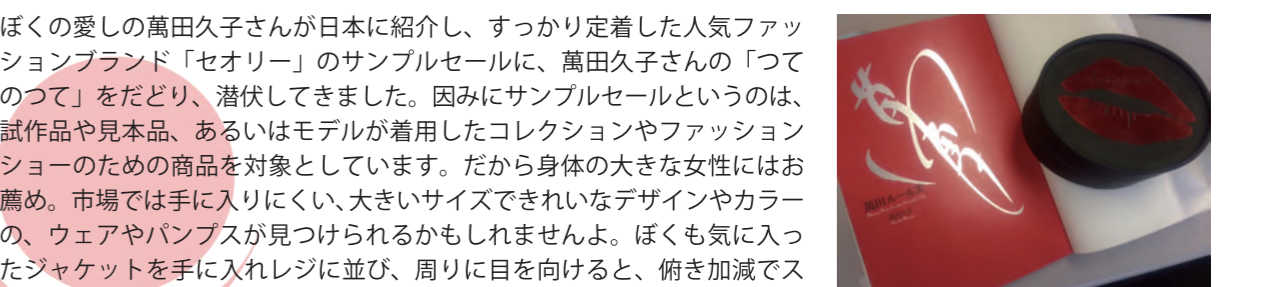
# Project 4.

「LIFE」で見つけた俺のLIFE

秋葉 悠介

この映画には「！」がある。

記録更新しました口唇炎ヘルペス！先月は4つもできました。勉強と失敗の日々が続く僕は、まだまだコイツとの付き合いが長くなりそうです…。そんな僕にピッタリな映画を観たのでご紹介いたします。ニューヨーク映画祭での本編お披露目の際には、会場が割れんばかりのスタンディング・オベーション。ベン・スティラーやショーン・ペンなどの豪華キャストが出演する映画「LIFE」。ニューヨークの伝統ある雑誌「LIFE」のオフィスで、写真管理をしている地味な男性に降りかかった思いがけないストーリー。目の前の仕事に押し流される毎日、空想の世界では自分はヒーロー、夢を追いかけられることを諦めてしまった主人公は、これって自分のことか？と誰もが思い当たるキャラクター。僕自身も何か嫌なことがあるとツライ、逃げ出したいた、す〜く空想の世界へ行くこともあるし、どこか日常をやり過ぎる事だけで精一杯になっている自分と重なりました。きっと、みなさんにも多少でも共通する部分がこの映画の中にあるはず。是非観ていただきたいので、映画の結末は言えませんが、日々の努力の先には、何かしらのがけがえのない一瞬が待ち受けていることに気がつくことができた気がします。

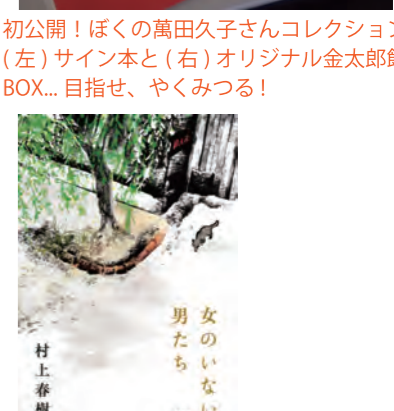


初公開！ぼくの萬田久子さんコレクション (左)サイン本と(右)オリジナル金太郎郎BOX... 目指せ、やくみつる！

ぼくの愛しの萬田久子さんが日本に紹介し、すっかり定着した人気ファッションブランド「セオリー」のサンプルセールに、萬田久子さんの「つてのつて」をだどり、潜伏してきました。因みにサンプルセールというのは、試作品や見本品、あるいはモデルが着用したコレクションやファッションショーのための商品を対象としています。だから身体の大きな女性にはお薦め。市場では手に入りにくい、大きいサイズできれいなデザインやカラーの、ウェアやパンプスが見つけれられるかもしれませんよ。ぼくも気に入ったジャケットを手に入れレジに並び、周りに目を向けると、俯き加減でスマホを触りながら順番を待つ男性に比べ、女性たちの元気で華やかなこと、彼女たちはその間も、カラフルで質感のいいカットソーやカーディガン、ニットなど戦利品を見せ合いながらキラキラと輝いています。中には子供を抱きかかえながら、タグを最終チェックしているママも見受けられます。アベノミクスやオリンピック景気などマスコミは消費喚起を煽り立てていますが、賢い女性は決して踊らされずに、しっかりと自分の欲しいものだけを手に入れて生きています。マーケティングに、日常の対照語でハレ消費という用語がありますが、これは日々摩耗している男性向けで、女性たちは毎日がハレの場なのでは。通勤前や家事の前にメイクアップする時からイベントがはじまり、ランチを決めるのも、アフター5は勿論のこと、就寝前に入浴やスキンケアも大切なイベントなのです。(ぼくの女性の憧憬が過分なことをご容赦) 毎日を充実して生きる、街にはそんな素敵女性たちで溢れています。

今月のタイトルは村上春樹さんの新作「女のいない男たち」を振りましたが、ほら、あなたの周りにも「男のいない女たち」が…

ぼくたち男性はそんな女性たちの、決してお邪魔はないから、おそばに(おそばに♪)置いてほしいものです。では次号 Ciao!



村上春樹さんは「偉い」ではなく「巧い」作家です。新刊も魅力的な登場人物が続々。ぼくはDVを受けている黒い半袖OPの女性が気に入りました。あなたは？